データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和6年03月26日

千葉県自動車販売整備健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	44250
組合名称	千葉県自動車販売整備健康保険組合
形態	総合
業種	その他のサービス業

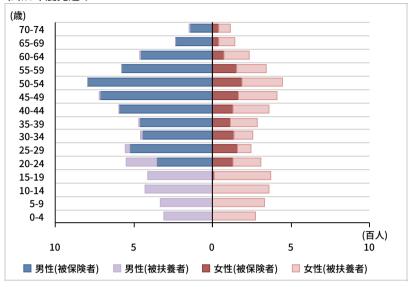
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	6,631名 男性79.5% (平均年齢45.3歳) * 女性20.5% (平均年齢43歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	11,483名	-名	-名
適用事業所数	365ヵ所	-ヵ所	-カ所
対象となる拠点 数	365ヵ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	98‰	-%0	-%0

		健康保険組	建康保険組合と事業主側の医療専門職											
		令和6年度	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み								
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)							
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-							
连体租口	保健師等	0	0	-	-	-	-							
中茶子	産業医	0	0	-	-	-	-							
事業主	保健師等	0	0	-	-	-	-							

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率	全体	3,656 / 5,307 =	= 68.9 %
(特定健康診査実施者数÷	被保険者	3,444 / 4,071 =	= 84.6 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者	212 / 1,236 =	= 17.2 %
特定保健指導実施率	全体	88 / 925	= 9.5 %
(特定保健指導実施者数÷	被保険者	88 / 901	= 9.8 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者	0 / 24	= 0.0 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)
	特定健康診査事業費	16,250	2,451	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	10,303	1,554	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	10,623	1,602	-	-	-	-
	疾病予防費	92,915	14,012	-	-	-	-
保健事業費	体育奨励費	3,165	477	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 ···a	133,256	20,096	0	-	0	-
	経常支出合計 ···b	3,640,916	549,075	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	3.66		-			

令和6年度見込み



令和8年度見込み



令和7年度見込み

男性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	7人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	356人	25~29	528人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	444人	35~39	465人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	594人	45~49	714人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	792人	55~59	576人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	457人	65~69	232人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	144人			70~74	-人			70~74	-人		

女性 (被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人 5′	~9	-人
10~14	0人	15~19	12人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人 15	5~19	-人
20~24	132人	25~29	162人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人 25	5~29	-人
30~34	139人	35~39	113人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人 35	5~39	-人
40~44	133人	45~49	168人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人 45	5~49	-人
50~54	191人	55~59	156人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人 55	5~59	-人
60~64	73人	65~69	41人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人 65	5~69	-人
70~74	40人			70~74	-人			70~74	-人		

男性(被扶養者)

A ===					A				A 7- A 1-	A 700 F C C C C				
令和6	5年度	ほ見込み かんきょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み				
0~4		307人	5~9	332人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人		
10~	14	426人	15~19	403人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人		
20~2	24	197人	25~29	30人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人		
30~3	34	11人	35~39	7人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人		
40~4	44	2人	45~49	6人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人		
50~!	54	2人	55~59	2人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人		
60~6	64	5人	65~69	1人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人		
70~	74	7人			70~74	-人			70~74	-人				

女性 (被扶養者)

令和6年月	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	277人	5~9	329人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	361人	15~19	361人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	175人	25~29	84人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	120人	35~39	174人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	226人	45~49	243人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	257人	55~59	191人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	161人	65~69	100人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	73人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

当健康保険組合は千葉県内における自動車の販売および整備を生業とする事業所が加入する健康保険組合である。 その業務の特性上、男性の被保険者が約8割を占めている。

被保険者の平均年齢は44.86歳で全国平均よりもやや高い傾向にある。

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- 1. 特定健康診査における被扶養者の受検率が低い。
- 2. 被保険者数が少ない事業が多いため、特定保健指導対象者が少ない事業所について特定保健指導を行うことができない。
- 3.特定保健指導について事業主の協力を得られないことが多い。
- 4. 人間ドックの受検者が年々増加しており、予算を圧迫しつつある。

事業の一覧

争耒の一見	
職場環境の整備	
疾病予防	健康診断
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙の発行
保健指導宣伝	医療費の通知
保健指導宣伝	健康者表彰
保健指導宣伝	ホームページの公開並びに活用
疾病予防	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の補助
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	育児図書の配布
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品利用促進
疾病予防	人間ドックの補助
疾病予防	人間ドック以外の諸検診の補助
疾病予防	集団胃検診
疾病予防	インフルエンザの予防接種の補助
疾病予防	訪問保健指導
疾病予防	オンライン禁煙プログラム
体育奨励	潮干狩り
体育奨励	契約宿泊施設の補助
体育奨励	東京ディズニーリゾートの補助
事業主の取組	
1	定期健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	注1)				対象	者				振り返り		
	事業 分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
疾病予防		健康診断	健康診断を行い有所見者を少なくする。	全て	男女	15 ~ 39	被保険者	8,500	4~5月に巡回で特定健診と併せて、 県内29箇所にて行う。 また、事業所独自で健康診断を行った 場合も助成する。	健康保険組合の健康保持増進の対象は 特定健診受診者だけでなく、被保険者 全体であることを前提にして助成を行 っているため、事業主にも受け入られ やすい。	特になし	4
加入	者への)意識づけ										
K 健 指 導 宣 伝	2	機関紙の発行	被保険者および被扶養者への事業状況及び保健事業についてお知らせ する。	全て	男女	15 ~ 74	被保険者	2,644	年2回および新年特別号。	情報発信	読まずに捨てている事業所があること。 配布してもちゃんと読まずにしまって いたり、被扶養者にも回覧させていな いことが多い。	4
124	2	医療費の通知	医療費支出適正化として行う。	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	360	9・3月に通知。	事業所の協力により、該当者へ通知書 を配布。	平成25年度までは年4回の通知を行って いたが、コストがかかりすぎるため、 平成26年度より年2回に変更。	4
	8	健康者表彰	健康者に対して表彰を行う。	全て	男女	17 ~ 74	被保険者	2,940	2月に表彰。	記念品を設定することにより、健康保 険被保険者証の使用を抑制する。 また、健康に対して向き合うようにな る。	対象者が満足できるような記念品の選定。	3
	2,8	ホームページ の公開並びに 活用	インターネットにて事業状況および保健事業等を公開。	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	-	変更があった事業等についてリアルタ イムで配信。 季節疾病情報を掲載。	届出書等のダウンロードもできるよう にしてあるので、各事業所担当者の利 用頻度が高い。 また、健保からの届出書の送料軽減に も一役。	ホームページの見方を知らない人への 対処。	3
疾病予防	3,8	のワクチン接 種の補助	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種をすることにより、職場環境、家庭環境の健全化を促す。	全て	男女	0 ~ 74	被保険者	6,050	新型コロナウイルス感染症のワクチン 接種を受けたものについて、3000円を 上限として年度内に一回のみ支給する 。			2
個別 特	の事業	ŧ										
7定健康診査事業	3	特定健康診査	特定健康診査の実施。	全て	男女	~	被保険者,被扶養者	16,250	4~5月に巡回(県内29カ所)にて行う とともに、事業所独自で行った場合も 助成。	事業主健診と一緒に行っているので、 被保険者の受診率は高い。	被扶養者の受診率の向上が必須。 広報等により周知徹底、令和4年度より特定健康診査の基本項目部分については自己負担無料とした。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	特定健康診査の実施により、対象者に対して保健指導を行う。	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	10,303	事業所と協力して実施	健康保険組合連合会千葉連合会との共催による、特定保健指導を利用したため、人数の制限はあるものの費用的には安い。 また、健康保険組合連合会千葉連合会との共催だけでは人数的に足りないので、平成29年度より当健康保険組合独自でも特定保健指導を行っている。	動機付け支援・積極的支援該当者となっても、保健指導を受けてくれる人がいない。 事業所の協力が必要であることと、自分自身の健康状況の把握が必要。	1
保健指導宣伝	2,6	育児図書の配 布	子供が生まれた家庭に対し、育児図書を配布し医療費の抑制につなげ る。	全て	男女	15 ~ 74	被保険者	1,340	子供が生まれた被保険者に対し、育児 冊子「赤ちゃんと!」を毎月配布。	核家族化に伴い育児についてアドバイ スをしてくれる人が少なくなったため 、こういった育児情報誌の需要は多い 。 アンケート等でも非常に好評である。	特になし	4

予	注1)				対象	者				振り返り		
算 科 目	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
	7	ジェネリック 医薬品利用促 進	ジェネリック医薬品への変更通知により医療費を抑制する。	全て	男女	~	被保険者,被扶養者	688	シール及びパンフレットを、機関紙配布時に同梱して配布。 また、新規適用時に健康保険被保険者証と同梱して配布。	シールとパンフレットの配布のみなの で、手軽にできた。	平成26年度より個別にジェネリックに した場合の差額通知を発送。	4
疾病予防	3	人間ドックの 補助	人間ドックを行った者の健康管理を行う。	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	60,850	35歳以上の被保険者および被扶養者に 対し助成。	健康診断・特定健診から人間ドックへ の需要が高まりつつあり、年々受検者 は増加している。	受検者が増加しているため、併せて助 成する額も増加しているので、なるべ く安価なコースを設けている医療機関 と契約する方向も考慮。	5
	3	人間ドック以 外の諸検診の 補助	健康診断や人間ドック受検時におけるオプション検査について助成す る。	全て	男女	~	被保険者,被扶養者	13,550	人間ドックまたは健康診断受診時にオ プションとして受けた場合に助成。	オプションについても助成があるとい うことで、人間ドックや健康診断等の 受検率もアップしてきている。	当健康保険組合は女性の被保険者が少ないため、巡回の健康診断の場合に女性が受けられるオプションの検査項目がほとんどない。 胃部についてもABC検診を平成29年度より導入。	2
	3	集団胃検診	胃の新生物及び胃炎、胃潰瘍を早期発見し治療する。	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	2,500	4~5月の巡回健康診断時に胃部レン トゲン検査を実施	受検者の自己負担がないので、受けや すい。ただし、平成30年度より自己負 担1,000円にて実施。	人間ドック受検者は増えているものの、こちらの受検者数は横ばい。できればこちらの受検者を増やして人間ドック受検者を減らしたいところではある。また、平成29年度よりABC分類についての助成を行っているため、今後のこの事業の在り方について検討の余地あり。	4
	3	インフルエン ザの予防接種 の補助	インフルエンザの医療費を抑制する。	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	5,300	10月からインフルエンザ予防接種を受けた者について助成	インフルエンザとしての医療費は格段 に減少。	各個人あての支給だと振込手数料が多くなるため、事業所の協力のもと各事 業所ごとでの支給とする。	4
	2,5,6	訪問保健指導	60歳以上の方の医療費の抑制	全て	男女	60 ~ 74	基準該 当者	1,139	平成27年度より、年度後期に行ってい る。	_		-
	5	オンライン禁 煙プログラム	喫煙者に対し禁煙を促すことにより発病リスクを低減する。	-	-	~	-	1,050	年間とする。	-	参加者がいるかどうか。	1
体育奨励	8	潮干狩り	潮干狩りにて歩行を促し健康増進につなげる。	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	310	4~8月まで参加者に対し利用券を配 布。	なるべく多く歩いていただくため、受付から潮干狩り場まで一番距離のある 江川海岸を選定。	東日本大震災以降、放射能についての 風評被害と、令和2年度以降は新型コ ロナウイルス感染症の影響があり参加 者が減少。	1
	8	契約宿泊施設 の補助	契約宿泊施設にてメンタル的な滋養を促す。	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	555	宿泊予約者に対し承認書を交付。	特になし	利用者の増減が年ごとに大きい。	3
	8	東京ディズニ ーリゾートの 補助	東京ディズニーリゾートにて歩行を促し健康増進につなげる。	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	2,300	参加者に対し利用券を配布。	機関紙やホームページ等で広報を行った。 東京ディズニーランド・東京ディズニ ーシーを利用することにより、パーク 内を歩いていただくことにより健康増 進となる。 また、加入者への受けもよい。		2

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

		対象者		振り返り		共同
事業名	事業の目的および概要	資格 性別 年 齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施
事業主の取組						
定期健康診断	従業員の健康管理のため、事業主健診を行う。	15 被保険者 男女 ~ 74	受検者950名	健保からの補助があるため。	特になし	有

STEP 1-3 基本分析

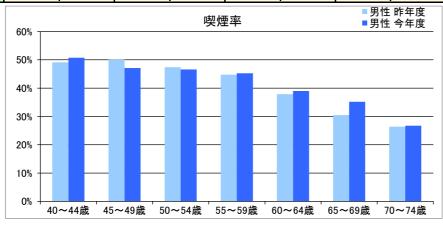
登録済みファイル一覧

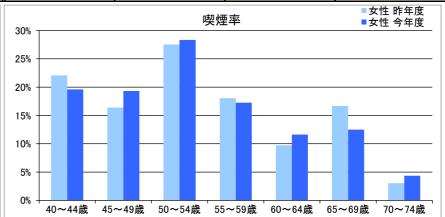
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア			健康リスク分析	
1		疾病分類別一人当たり医療費	医療費・患者数分析	
ウ	CHAPATORIAN	生活習慣病医療費経年変化	医療費・患者数分析	
I		ジェネリック医薬品分析	後発医薬品分析	-
才		糖尿病リスク	特定健診分析	-

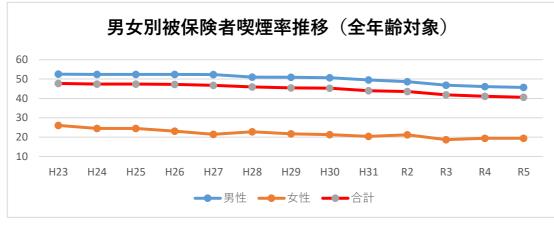
令和4年度特定健診の問診回答

40歳以上

		男性									女	性					
			昨年度(4	15.17%)			今年度(45.05%)		昨年度(19.06%) 今年度(19				19.6%)			
		1. (はい	2. い	いえ	1. (はい	2. ເ`	いえ	1. は	(l)	2. い	いえ	1. (はい	2. เง	ハえ
年齢区分	· j	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40~44歳	麦	251	49.12%	260	50.88%	268	50.76%	260	49.24%	30	22.06%	106	77.94%	30	19.61%	123	80.39%
45~49歳	麦	316	50.08%	315	49.92%	294	47.12%	330	52.88%	31	16.40%	158	83.60%	34	19.32%	142	80.68%
50~54歳	麦	279	47.37%	310	52.63%	295	46.60%	338	53.40%	49	27.53%	129	72.47%	53	28.34%	134	71.66%
55~59歳	麦	189	44.79%	233	55.21%	210	45.26%	254	54.74%	22	18.03%	100	81.97%	24	17.27%	115	82.73%
60~64歳	麦	120	37.85%	197	62.15%	142	39.01%	222	60.99%	7	9.72%	65	90.28%	10	11.63%	76	88.37%
65~69歳	表	46	30.46%	105	69.54%	57	35.19%	105	64.81%	6	16.67%	30	83.33%	4	12.50%	28	87.50%
70~74歳	麦	24	26.37%	67	73.63%	23	26.74%	63	73.26%	1	3.03%	32	96.97%	1	4.35%	22	95.65%







喫煙率は年々減少しているものの依然として高い。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
男性	52.53	52.39	52.39	52.39	52.29	50.98	50.90	50.72	49.50	48.62	46.84	46.08	45.67
女性	26.06	24.48	24.48	23.11	21.46	22.75	21.69	21.26	20.36	21.20	18.70	19.42	19.42
合計	47.74	47.40	47.40	47.21	46.73	45.94	45.45	45.27	43.94	43.57	41.88	41.13	40.58

令和4年度疾病分類別 レセプト単位医療費

	強制+任継計	
疾病119分類	医療費総額	1人当たり 医療費
0101:腸管感染症	3,349,180	283
0102:結 核	318,940	27
0103:性的感染症	1,210,660	102
0104:ウィルス性疾患	6,536,220	553
0105:ウィルス性肝炎	1,580,790	134
0106:他のウィルス性疾患	873,710	74
0107:真菌症	2,576,340	218
0108:感染症・寄生虫症・後遺症	0	0
0109:その他の感染症・寄生虫症	5,464,530	462
0201:胃の悪性新生物	15,483,010	1,310
0202:結腸の悪性新生物	18,983,830	1,607
0203:直腸の悪性新生物	9,565,310	810
0204:肝・肝内胆管の悪性新生物	1,737,340	147
0205:気管・肺の悪性新生物	10,444,450	884
0206:乳房の悪性新生物	23,933,590	2,026
0207:子宮の悪性新生物	2,866,890	243
0208:悪性リンパ腫	12,172,010	1,030
0209:白血病	11,712,020	991
0210:その他の悪性新生物	56,070,960	4,745
0211:良性新生物	41,087,960	3,477
0301:貧 血	3,964,540	336
0302:血液・造血器疾患	1,556,270	132
0401:甲状腺障害	14,022,110	1,187
0402:糖尿病	41,637,890	3,524
0403:脂質異常症	13,920,870	1,178
0404:内分泌・栄養・代謝疾患	16,237,160	1,374
0501:血管性・不明の認知症	6,680	1
0502:精神作用物質障害	1,357,900	115
0503:統合失調症・妄想性障害	10,234,210	866
0504:気分障害(躁うつ)	12,235,280	1,035
0505:神経症性障害・ストレス	2,593,610	219
0506:知的障害(精神遅滞)	48,170	4

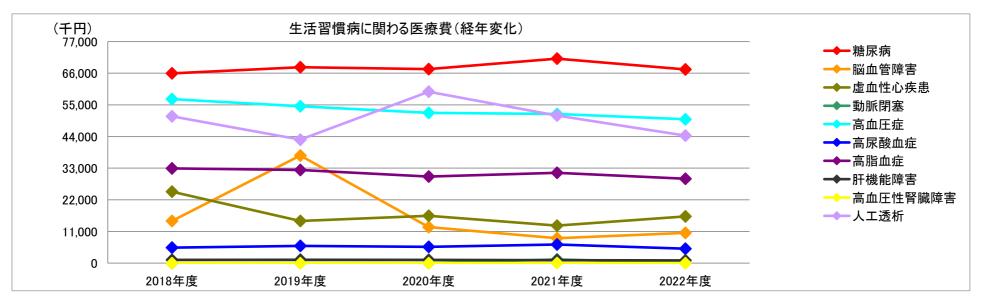
	強制+任継計	
疾病119分類	医療費総額	1人当たり 医療費
0507:その他の精神・行動障害	3,223,380	273
0601:パーキンソン病	674,710	57
0602:アルツハイマー病	71,300	6
0603:てんかん	6,469,140	547
0604:脳性麻痺・麻痺性症候群	7,140,970	604
0605:自律神経系障害	97,850	8
0606:その他の神経系疾患	25,349,800	2,145
0701:結膜炎	6,450,610	546
0702:白内障	6,966,190	590
0703:屈折•調節障害	9,496,820	804
0704:その他の眼疾患	29,950,780	2,535
0801:外耳炎	746,940	63
0802:その他の外耳疾患	2,244,560	190
0803:中耳炎	2,976,060	252
0804:その他の中耳炎・乳様突起	1,828,440	155
0805:メニエール病	1,375,720	116
0806:その他の内耳疾患	245,050	21
0807:その他の耳疾患	6,424,960	544
0901:高血圧性疾患	34,826,790	2,947
0902:虚血性心疾患	19,023,720	1,610
0903:その他の心疾患	50,104,310	4,240
0904:〈も膜下出血	4,497,080	381
0905:脳内出血	6,812,160	577
0906:脳梗塞	19,467,360	1,648
0907:脳動脈硬化	0	0
0908:その他の脳血管疾患	5,993,550	507
0909:動脈硬化	1,563,100	132
0911:低血圧	38,390	3
0912:その他の循環器系疾患	20,879,640	1,767
1001:急性鼻咽頭炎(かぜ)	1,387,920	117
1002:急性咽頭炎	3,564,980	302
1003:急性上気道感染症	7,998,230	677

	強制+任継計	
疾病119分類	医療費総額	1人当たり 医療費
1004:肺 炎	4,146,950	351
1005:急性気管支炎·細気管支炎	8,125,080	688
1006:アレルギー性鼻炎	21,866,010	1,851
1007:慢性副鼻腔炎	6,037,170	511
1008:気管支炎(非急性・慢性)	442,590	37
1009:慢性閉塞性肺疾患	1,310,500	111
1010:喘 息	24,895,250	2,107
1011:その他の呼吸器系疾患	17,068,020	1,444
1101:う 蝕	0	0
1102:歯肉炎・歯周疾患	13,120	1
1103:歯・歯の支持組織障害	27,070	2
1104:胃・十二指腸潰瘍	3,445,660	292
1105:胃·十二指腸炎	3,230,430	273
1106:痔 核	3,038,820	257
1107:アルコール性肝疾患	392,840	33
1108:慢性肝炎(非アルコール)	179,390	15
1109:肝硬変(非アルコール)	698,740	59
1110:その他の肝疾患	9,008,960	762
1111:胆石・胆のう炎	6,675,930	565
1112:膵疾患	5,463,680	462
1113:その他の消化器系疾患	85,744,490	7,257
1201:皮膚・皮下組織感染症	3,991,460	338
1202:皮膚炎・湿疹	11,912,160	1,008
1203:その他の皮膚・皮下疾患	25,302,010	2,141
1301:炎症性関節障害	15,923,930	1,348
1302:関節症	20,478,500	1,733
1303:脊椎障害・脊椎症	12,723,230	1,077
1304:椎間板障害	7,412,770	627
1305:頚腕症候群	104,930	9
1306:腰痛・坐骨神経痛	2,550,610	216
1307:その他の脊柱障害	1,518,430	129
1308:肩の障害	2,151,440	182

	強制+任継計	
疾病119分類	医療費総額	1人当たり 医療費
1309:骨密度·構造障害	6,533,470	553
1310:その他の筋骨格等障害	13,359,340	1,131
1401:糸球体・腎尿細管疾患	5,996,050	507
1402:腎不全	48,218,610	4,081
1403:尿路結石症	8,332,960	705
1404:その他の腎尿路系疾患	5,057,820	428
1405:前立腺肥大	2,826,760	239
1406:その他の男性性器疾患	1,498,490	127
1407:月経・閉経周辺期障害	4,714,840	399
1408:乳房•女性性器疾患	21,002,090	1,777
1501:流 産	443,670	38
1502:妊娠中毒症	724,360	61
1503:単胎自然分娩	0	0
1504:他の妊娠・分娩・産じょく	17,958,750	1,520
1601:妊娠•胎児発育障害	357,710	30
1602:その他の周産期発生病態	9,381,230	794
1701:心臓の先天奇形	418,670	35
1702:他の先天奇形・染色体異常	4,170,730	353
1800:他に分類不能	21,554,120	1,824
1901:骨 折	31,906,390	2,700
1902:頭蓋内・内臓損傷	557,370	47
1903:熱傷・腐食	328,640	28
1904:中 毒	151,160	13
1905:他の損傷・外因性	44,014,890	3,725
2101:検査・診査の保健サービス	0	0
2102:予防接種	0	0
2103:正常妊娠・産褥管理	0	0
2104:歯の補てつ	0	0
2105:特定処置・保健ケア	0	0
2106:その他の保健サービス	12,428,320	1,052
2210:重症急性呼吸器症候群	0	0
2220:その他の特殊目的	122,636,340	10,379
8888:ワープロ病名等	22,637,440	1,916

生活習慣病医療費の経年変化

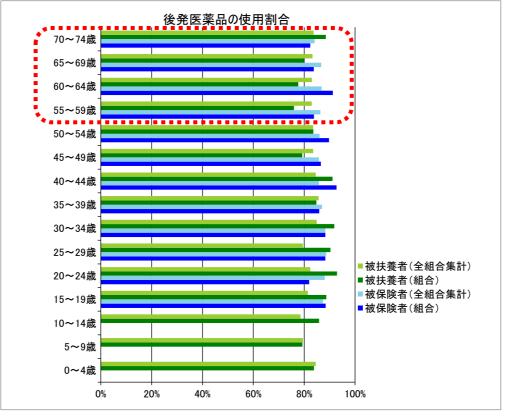
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	医療費総額	医療費総額	医療費総額	医療費総額	医療費総額
糖尿病	65,943,190	68,072,940	67,444,140	71,059,650	67,314,860
脳血管障害	14,640,470	37,395,510	12,502,750	8,648,490	10,526,410
虚血性心疾患	24,823,430	14,630,070	16,464,120	13,038,780	16,227,320
動脈閉塞	9,720	21,680	8,960	1,277,430	40,830
高血圧症	56,993,220	54,505,300	52,218,750	51,811,570	50,005,470
高尿酸血症	5,397,270	5,992,380	5,662,930	6,465,910	5,012,360
高脂血症	32,917,810	32,368,020	30,067,180	31,414,740	29,325,920
肝機能障害	1,110,620	1,166,990	1,116,690	1,035,090	944,080
高血圧性腎臓障害	4,000	5,680	5,350	17,170	5,110
人工透析	51,004,460	42,920,720	59,555,580	51,283,180	44,330,760



調剤医療費と後発医薬品使用率 2月と4月の比較

(3月にジェネリック医薬品のお知らせを発出しているため)

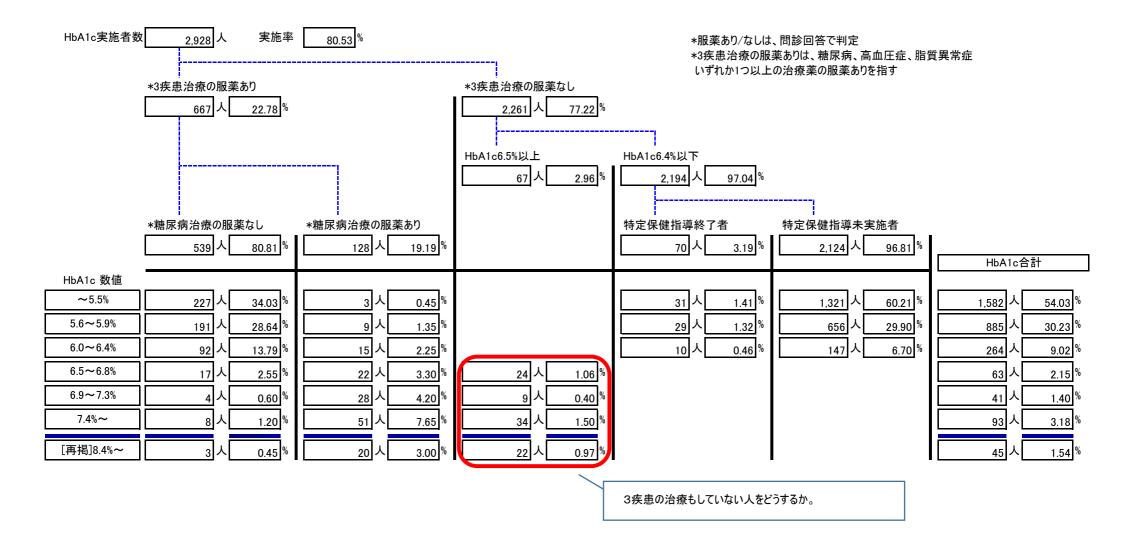
後発医薬品の使	用率		全組合集計
年齢階層	4月	2月	4月
十断阳眉	使用割合	使用割合	使用割合
0~4歳	83.83%	87.57%	84.55%
5~9歳	79.30%	78.92%	79.48%
10~14歳	85.85%	79.72%	78.54%
15~19歳	88.72%	79.25%	81.64%
20~24歳	86.43%	78.95%	85.30%
25~29歳	88.90%	86.27%	87.06%
30~34歳	89.55%	89.73%	87.63%
35~39歳	85.69%	87.82%	86.67%
40~44歳	92.19%	88.19%	85.50%
45~49歳	84.66%	84.94%	85.24%
50~54歳	88.05%	88.09%	85.43%
55~59歳	81.83%	90.74%	85.54%
60~64歳	88.40%	86.37%	85.97%
65~69歳	82.96%	85.77%	85.65%
70~74歳	83.94%	82.76%	83.91%
合 計	85.72%	85.61%	84.90%



ジェネリック医薬品のお知らせを発出した後は後発医薬品の使用率は上昇傾向にある。ただし、55~74歳の使用率は低い。

被保険者と被扶養者別に見ると被保険者は年齢が上がるにつれ、使用割合は減少傾向だが、被扶養者は増加傾向にある。

令和4年度糖尿病リスクフローチャート



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ,ウ	医療費が年々増加している。 とくに新型コロナウイルス感染症関連の医療費と、消化器系の医療費が高い	>	人間ドック等により判明した消化器系の疾患について、重症化する前に 両機関に受診してもらう	~
2	エ	ジェネリック使用率は全健保よりも当健保の方が高いが、55歳以上の方がジェネリック医薬品に変更していない。	>	55歳以上の方にジェネリック医薬品の通知をする際に、わかりやすいように工夫をする。	~
3	ア	喫煙者が高い	→	健康習慣を身につけるために保健事業により助成をする。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	男性の被保険者が8割以上を占める。	-	男性の被保険者を中心とした対策を取るべきである。
4	被扶養者の25歳以上はほとんどが女性である。		とくに事業主と協力して、医療費削減に向けての検討を行いたい。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	喫煙率が高いため健康診断や人間ドック受検時に、オプションとして胸部CTに対して助成を行っている。	>	喫煙率の低下を目指すため、禁煙プログラムを実施する。
	2 消化器系の医療費が高いので、ABC分類を推進していく。	→	助成の対象年齢が50歳以上となっているが、今後は対象年齢の引き下げも検討する。

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 医療費を抑制するための手段の構築

事業全体の目標 糖尿病、新生物及び消化器系疾患の医療費を削減する。

事業の一覧	
職場環境の整備	
疾病予防	健康診断
疾病予防	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の補助
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	育児図書の配布
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品利用促進
疾病予防	人間ドックの補助
疾病予防	人間ドック以外の諸検診の補助
疾病予防	集団胃検診
疾病予防	インフルエンザの予防接種の補助
疾病予防	訪問保健指導
疾病予防	オンライン禁煙プログラム
体育奨励	潮干狩り
体育奨励	契約宿泊施設の補助
体育奨励	東京ディズニーリゾートの補助

[※]事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

注1)	新			対象者		注2) ;	注3)		注4)											
事業	規既	事業名	対象				しプロ	ー, ロセス 分類	実施方法	ストラク チャー	実施体制	 令和6年度	令和7年度	実施 令和8年度	計画 	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連		
77.20	存		事業所	性別	静 对象	1 "				分類		り作り十尺	741千戌	70年及	り作り十反						
場環境の	整備																				
ī		建康診断	全て	3) 第 8			ウ σ -	プトにて確認。	ア,イ,カ	行う。	診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	4~5月に巡回にて健康 診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	診断を行う。事業所にて 個別に行った場合も助成 する。	健康診断を行い有所見者を少なくする。	医療費が年々増加している。 とくに新型コロナウイルス感染症 関連の医療費と、消化器系の医療 費が高い		
受検者 度:1,8	が増加 840人	加(【実績値】- 、)受検者数の向	- 【目標 可上	値】令和(6年度:	1,850人	令和	17年度:	1,840人 令和8年度:1,8	325人 令和	D9年度:1,830人 令和10 ⁹	丰度:1,833人 令和11年	有所見者数の減(【実績値】	- 【目標値】令和6年度	:27.4% 令和7年度:27.2	% 令和8年度:26.8%	令和9年度:26.5% 令和10	0年度:26.1% 令和11年度:25.8%)健康係	持増進		
												6,050	-								
1,8	新力規(新型コロナウ イルス感染症 のワクチン接 重の補助	全て	男女の見ない。	6 ~ (上 被保 者	険 1	z	打 力 衣	新型コロナウイルス感染 症のワクチン接種を受け たものについて、3000円 を上限として年度内に一 回のみ支給する。	٤	_	症のワクチン接種の有料	新型コロナウイルス感染 症のワクチン接種の有料 化に伴い、時限的に実施 。	症のワクチン接種の有料	症のワクチン接種の有料	症のワクチン接種の有料	症のワクチン接種の有料	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種 をすることにより、職場環境、家庭環境の 健全化を促す。	医療費が年々増加している。 とくに新型コロナウイルス感染 関連の医療費と、消化器系の医 費が高い		
接種者	'数(【	実績値】- 【	【目標値】	令和6年度	宴:50人	令和7	年度:	60人 4	令和8年度:70人 令和9年	≢度:75人	令和10年度:80人 令和	11年度:85人)-	119分類2220の一人当たり	医療費(【実績値】- 【目	標値】令和6年度:9,000円	令和7年度:8,500円 令	和8年度:8,000円 令和9	年度:7,700円 令和10年度:7,500円 令和	和11年度:7,000円)-		
人者への		づけ																			
が事果												16,250									
	既存(法定)	寺定健康診査	全て		·0 被保 ~ 者,被 ·4 養者	扶 1	1	-		ア	-		4~5月に巡回健診を行い、事業所独自で行った場合でも助成をする					特定健康診査の実施。	医療費が年々増加している。 とくに新型コロナウイルス感染 関連の医療費と、消化器系の医 費が高い		
1/2	_,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,										生活習慣リスク保有者率(内臓脂肪症候群該当者割合	【実績値】20% 【目標値)	】令和6年度:20% 令和7	年度:19% 令和8年度: 17年度:29% 令和8年度	18% 令和9年度:17% 숙 :28% 令和9年度:27%	36% 令和11年度:35%)受検者の健康維持 合和10年度:16% 令和11年度:15%)- 令和10年度:26% 令和11年度:25%)-			
4	既存(法定)	寺定保健指導	全て	4 男女 7	-0 〜 基準 '4 当i	該 1 皆	Σ,⁴	,		ウ		事業主に就業時間中に初 回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ	事業主に就業時間中に初 回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ いてもICTを活用して	回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ	回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ	回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ	回面談を行う協力をいた だき実施、被扶養者につ	特定健康診査の実施により、対象者に対し て保健指導を行う。	医療費が年々増加している。 とくに新型コロナウイルス感染 関連の医療費と、消化器系の医 費が高い		
										和9年度:8	60人 令和10年度:83人	令和11年度:85人)健康保	特定保健指導対象者率(【§	実績値】25.87% 【目標値	② ② 合和6年度:30% 令和	7年度:30% 令和8年度:	29% 令和9年度:29%	令和10年度:28% 令和11年度:28%)年々	増加させていくことにより健康		
		会千葉連合会と											向き合ってもらう	句き合ってもらう							
特定保	健指導	算実施率(【実績	績値】10 ⁶	% 【目标	漂値】令	和6年度	: 8%	令和74	年度:8% 令和8年度:9	9% 令和94	年度:9% 令和10年度:1	0% 令和11年度:10%)-	,					→ 和10年度:28% → 和11年度:28%)-			
														· ·				\$和9年度:3%			
-													ŭ	達成した者の割合(【実績値	13% 【目標値】分和6年	- 度:3%	令和8年度:3% 令和93	F度:3% 令和10年度:3% 令和11年度 -	: 3%)-		
5	既有存	育児図書の配 布	全て	1 男女 ~ 7	.5 被保 ·4	険 1	ケ	-		シ	_	1,398	_	_			_	子供が生まれた家庭に対し、育児図書を配 布し医療費の抑制につなげる。	該当なし(これまでの経緯等で 施する事業)		
配布数	7(【実	績値】349人	【目標值	1 令和6	年度:-,	人 令和	7年度	:-人 숙	↑和8年度:-人 令和9年月	度:-人 令	和10年度:-人 令和11年	度:-人)-	乳幼児受診者数(【実績値】	1,083人 【目標值】令和	16年度:-人 令和7年度:-	人 令和8年度:-人 令和	9年度:-人 令和10年度:	-人 令和11年度:-人)0~4歳の乳幼児を対	\$		
	D17	ジェネリック 医薬品利用促	全て		5 被保	険						ク医薬品への利用促進の	資格取得時にジェネリッ ク医薬品への利用促進の	ク医薬品への利用促進の	ク医薬品への利用促進の	ク医薬品への利用促進の	ク医薬品への利用促進の	ジェネリック医薬品への変更通知により医	ジェネリック使用率は全健保よ も当健保の方が高いが、55歳以 の方がジェネリック医薬品に変 していない。		

類存	事業名		対象	12	実施	実施フ	注3) プロセス		宝施方法	注4) ストラク	ク 実施体制			事業目標	健康理照との関連				
	争表位	対象事業	性別	年龄			プロセス 分類		夫爬力本	チャー		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	争耒日保	健康課題との関連
	<u> </u>] -	71	EDP				アウトプ								アウト			
印件数(-	【実績値】724	件【目	標値】令	和6年	度:280件	‡ 令	和7年度:	270件 名	分和8年度:260	件 令和9年	度:250件 令和10年度	: 240件 令和11年度: 230	ジェネリック医薬品使用率	図の向上(【実績値】51.2%	【目標值】令和6年度:7	5% 令和7年度:76% 令	分和8年度:77% 令和9年度	建:78% 令和10年度:79% 令和11年度	: 80%)-
												48,10	0						
3	: 人間ドックの : 補助	全て	. 男女	35 礼 ~ 礼 74	,被扶	1 5	ל	-		ħ		直接契約している医療機関については、補助額32,000円を医療機関に支払う。また、直接契約をしていない医療機関で受診した場合においても、人間ドック総額より10,000円	直接契約している医療機 関については、補助額32, 000円を医療機関に支払う 。また、直接契約をして いない医療機関で受診し た場合においても、人間 ドック総額より10,000円 3 を控除した金額に対し、3	関については、補助額32,000円を医療機関に支払う。また、直接契約をしていない医療機関で受診した場合においても、人間ドック総額より10,000円	関については、補助額32 5 000円を医療機関に支払う 。また、直接契約をして いない医療機関で受診し た場合においても、人間 ドック総額より10,000円 3 を控除した金額に対し、3	関については、補助額32, 000円を医療機関に支払う。また、直接契約をしていない医療機関で受診した場合においても、人間ドック総額より10,000円	関については、補助額32, 5000円を医療機関に支払う。また、直接契約をしていない医療機関で受診した場合においても、人間ドック総額より10,000円	人間ドックを行った者の健康管理を行う。	医療費が年々増加している とくに新型コロナウイルス 関連の医療費と、消化器系 費が高い
**	人物/【史结结】	1 100 Å	7 p t=	估】 A	和C午中	. 1 20	10 L AF	177年 年・1	20E 1 ATTO	ェ麻・1 210) 人	令和10年度:1,220人 令	,	,	,	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	へ数(【夫頼他】 :1,222人)-	1,180/	、 【日信	可以即	和0千茂	. 1,20	10人 市作	Ⅱ/平接・1	.,205人 市和8-	干浸・1,210	八 节和9年度 1,213人	节和10年度、1,220人 节	医科一人当たり医療費(【乳	実績値】80,042円 【目標	値】令和6年度:70,000円	令和7年度:70,000円 名	令和8年度:70,000円 令和	9年度:69,000円 令和10年度:69,000円	令和11年度:69,000円)-
												15,05	0 -		-	-	-		
3 存	人間ドック以 外の諸検診の 補助	全て		74	f,被扶 養者		イ,ウ,サ	-		ア,カ		モグラフィー、胸部CT、 ABC検診について5,000円 まで助成する	B ABC検診について5,000円 まで助成する	モグラフィー、胸部CT、 ABC検診について5,000円 まで助成する	モグラフィー、胸部CT、 ABC検診について5,000円 まで助成する	モグラフィー、胸部CT、 ABC検診について5,000円 まで助成する	モグラフィー、胸部CT、 ABC検診について5,000円 まで助成する	健康診断や人間ドック受検時におけるオプ ション検査について助成する。	関連の医療費と、消化器系 費が高い
」者数(₹・1.7	【実績値】1,84 750人)受検率の[7人 【	【目標值】	令和6年	F度:1,7	700人	令和7年	度:1,710	人 令和8年度	: 1,720人	令和9年度:1,730人 令	和10年度:1,740人 令和11	子宮の悪性新生物一人当た	- り医療費(【実績値】260	円 【目標値】令和6年度:	260円 令和7年度:260円] 令和8年度:250円 令和	 9年度:250円	11年度:250円)-
. 1,7	50人)支快举切	미ㅗ																	
														,		, ,	,	円 令和9年度:1,020円 令和10年度:1,0	,
													胃部の悪性新生物及び消化 度:6,700円)-	公器系疾患の一人当たり医 類	療費(【実績値】7,000円	【目標値】令和6年度:6,90	0円 令和7年度:6,900円	令和8年度:6,800円 令和9年度:6,800円	9 令和10年度:6,800円
												4,40	0 -		-	-	-	-	
既存	集団胃検診	全て	男女	35 礼 ~ 者 74	,被扶	1 +	ť	-		ア,カ		4~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	2 4~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	4~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	4~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	4~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	24~5月に行う巡回健診に て、胃部レントゲン検査 を行う	胃の新生物及び胃炎、胃潰瘍を早期発見し 治療する。	医療費が年々増加してい とくに新型コロナウイル 関連の医療費と、消化器: 費が高い
平成30 、平成	年度より自己負	担が無料	料だった		自己負担	旦1,00	0円とした	たため、受	検者数は平成28	年度より減	度:285人 令和10年度 少すると思われる。	: 290人 令和11年度: 295	有所見者率(【実績値】1.5	% 【目標値】令和6年度	:1% 令和7年度:1% *	会和8年度・1% 会和9年度	F:10% 会和10年度:10%	今和11年度・10公平成20年度はABC分類の	
	た方は、平成32										受検者数は減っている。 ま 減少する見込みである。	₹た、平成29年度にABC分	方がこの検査を受けている	いため有所見率は低い。		מידיכאונן 1.10 אין די אין די אוינן	z · 170	节相II平皮·I70)下成25平皮16ADC分积0	検査を50歳以上の方に行い
	インフルエンザの予防接種	年度にま	t ABC	分類を 0 ~								3,80 インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	0 インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ	インフルエンザの医療费を抑制する	
既	インフルエン	年度にま	t ABC	分類を 0 t	受けられ							3,80 インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	0	インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ	インフルエンザの医療费を抑制する	該当なし(これまでの経
既存	インフルエン ザの予防接種 の補助 【実績値】1,99	年度にま	E た A B C	分類を 0 / 1 ~ 74	受けられ 可入者 全員	າວ ລະ	うになって	ているため	、平成32年度 <i>0.</i>	受検者数はア	減少する見込みである。 - -	3,80 インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 医療費(【実績値】1,559F	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	インフルエンザの医療费を抑制する	該当なし(これまでの経 施する事業)
既存	・ インフルエン ・ ザの予防接種 の補助	年度にま	E た A B C	分類を 0 / 1 ~ 74	受けられ 可入者 全員	າວ ລະ	うになって	ているため	、平成32年度 <i>0.</i>	受検者数はア	減少する見込みである。 - -	3,80 インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する 和10年度:2,060人 令和11	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ)び被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の抑	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 医療費(【実績値】1,559F	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する	インフルエンザの医療費を抑制する。	該当なし(これまでの経 施する事業)
既存	インフルエン ザの予防接種 の補助 【実績値】1,99	年度にま全て (26人) 【	: 男女【目標値】	分類を 0 / 1 ~ 74	受けられ 可入者 全員	າວ ລະ	うになって	ているため	、平成32年度 <i>0.</i>	受検者数はア	減少する見込みである。 - -	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の抑の ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 医療費(【実績値】1,559円制 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「国標値」令和6年度: ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,55 - - ランダムで選出した65歳 以上の被保険者および被 扶養者に対し、保健師等 を派遣し健康相談等を行	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 60円 令和8年度:1,540円 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行	インフルエンザの医療費を抑制する。	該当なし(これまでの紹施する事業) DP 令和11年度:1,530P ジェネリック使用率は全も当健保の方が高いが、の方がジェネリック医薬していない。 医療費が年々増加してい
既存	・インフルエン ・ザの予防接種 の補助 (【実績値】1,99 070人)-	年度にま全て (26人) 【	: 男女【目標値】	分類を 0 ~ 74 令和64	受けられ 可入者 全員	າວ ລະ	うになって	ているため	、平成32年度 <i>0.</i>	受検者数はア	減少する見込みである。 - -	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の抑の ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 医療費(【実績値】1,559円制 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「国標値」令和6年度: ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等	- インフルエンザの予防接 種を行った被保険者およ) び被扶養者に対し、1,500 円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,55 - - ランダムで選出した65歳 以上の被保険者および被 扶養者に対し、保健師等	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 50円 令和8年度:1,540円	インフルエンザの医療費を抑制する。 令和9年度:1,540円 令和10年度:1,540	該当なし(これまでの経施する事業) の 令和11年度:1,530円 ジェネリック使用率は全も当健保の方がジェネリック医薬していない。 医療費が年々増加していとくに新型コロナウイル
既存 数() 新規	インフルエン ザの予防接種 の補助 【実績値】1,99 170人)-	年度にま 全て 06人 【 全て	たABC 男女 【目標値】 男女	分類を 0	受けられ 可入者 自全 主達 主達 主き 当者	1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =	うになっ ⁷ キ 令和7年	- 度:2,020	、平成32年度の	受検者数は ア : 2,040人 ウ	減少する見込みである。 - -	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の担り ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「医療費(【実績値】1,559Fの制 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「国標値」令和6年度: ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被保験者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,55	インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ)び被扶養者に対し、1,500円まで助成する 50円 令和8年度:1,540円 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	インフルエンザの医療費を抑制する。 令和9年度:1,540円 令和10年度:1,540	該当なし(これまでの経施する事業) 一 令和11年度:1,530円 ジェネリック使用率は全も当健保の方が高いが、の方がジェネリック医薬していない。 医療費が年々増加していとくに新型コロナウイル関連の医療費と、消化器費が高い
既存 者: 2,0 新規	インフルエン ザの予防接種 の補助 【実績値】1,99 170人)-	年度にま 全て 06人 【 全て	たABC 男女 【目標値】 男女	分類を 0	受けられ 可入者 自全 主達 主達 主き 当者	1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =	うになっ ⁷ キ 令和7年	- 度:2,020	、平成32年度の	受検者数は ア : 2,040人 ウ	減少する見込みである。 - 令和9年度:2,050人 令:	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりび被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の抑の ランダムで選出した65歳以上の被保険対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。前期高齢者の一人当たり医300円)-	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「医療費(【実績値】1,559Fの制 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「国標値」令和6年度: ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被保験者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,55	インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ)び被扶養者に対し、1,500円まで助成する 50円 令和8年度:1,540円 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。	インフルエンザの医療費を抑制する。 令和9年度:1,540円 令和10年度:1,540 60歳以上の方の医療費の抑制	該当なし(これまでの経施する事業) 一 令和11年度:1,530円 ジェネリック使用率は全も当健保の方が高いが、の方がジェネリック医薬していない。 医療費が年々増加していとくに新型コロナウイル関連の医療費と、消化器費が高い
既存 数(() 新規 幹者	インフルエン ザの予防接種 の補助 【実績値】1,99 170人)- 訪問保健指導	年度にま 全て 06人 【 0人 【 [[たABC 男女 【目標値】 男女	分類を 0 ~ 74	受けられ 可入者 自全 主達 主達 主き 当者	1 = 1000人	うになっ ⁷ キ 令和7年 オ	ているため - 度:2,020 オンライ	、平成32年度の	受検者数は ア : 2,040人 ウ	減少する見込みである。 - 令和9年度:2,050人 令:	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被扶養者に対し、保健師者に対し、保健師を派遣し健康相談等を行う。 人 令和11年度:25人)- 1,05 禁煙希望の喫煙者に対したよび禁煙を促すことと、禁煙ガムや	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりび被扶養者に対し、1,500円まで助成するインフルエンザー人当たりエンザに対する医療費の抑の ランダムで選出した65歳以上の被保険対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。前期高齢者の一人当たり医300円)-	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 医療費(【実績値】1,559円制 ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被禁を派遣し健康相談等を行う。 無療費(【実績値】896,424回 を	インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりで被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「目標値」令和6年度: ランダムで選出した655歳以よ者が被保険とはよび被保験を行う。 「目標値」令和6年度: 「関標値」では、はいませいでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりが被扶養者に対し、1,500円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,550円 令和7年度:1,550円 令和7年度:8以上の被保険者よび破等を行う。 896,400円 令和7年度:8 禁煙希望の喫煙者に対したもり禁煙を オンラインにより禁煙を促すことと、禁煙ガムや	インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりが被扶養者に対し、1,500円まで助成する。 50円 令和8年度:1,540円 - ランダムで選出した65歳以上の被保険者および被禁養者に対し、保健師を活遣し健康相談等を行う。 - 禁煙希望の喫煙者に対した。禁煙希望の吹煙者は禁煙をはすことと、禁煙ガムや	インフルエンザの医療費を抑制する。 令和9年度:1,540円 令和10年度:1,540 60歳以上の方の医療費の抑制 5,300円 令和9年度:896,300円 令和10年	該当なし(これまでの経施する事業) 一 令和11年度:1,530円 ジェネリック使用率は全も当健保の方がジェネリック医薬していない。 医療費が年々増加していたくに新型コロナウイル関連の医療費と、消化器質が高い
既存 数(,0 新規 象 新規	インフルエン ザの予防接種 の補助 (【実績値】1,99 (70人)- (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	年度にま 全て OG人 【E	た ABC 男標値 男女 を 女 を 女 を 女 を 女 を 女 を 女 を 女 かんしょう	分類 0~74 和 60~74 和 18~(上限なし) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	受けられ 引全 度	1 = 0000人	うになっ ⁷ キ 令和7年 ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ているため - 度:2,020 オンライ び禁煙の	、平成32年度の 人 令和8年度 和8年度: 20人 ンによる面談及 機会を作る	受検者数は ア : 2,040人 ウ 令和9年度	減少する見込みである。 - 令和9年度:2,050人 令 :20人 令和10年度:25	3,80 インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する 和10年度:2,060人 令和11 73 ランダムで選出した65歳以上の被害者に対し、保健師等を派遣し健康相談等を行う。 人 令和11年度:25人)-1,05 禁煙希望の喫煙者を禁煙がしたなり禁煙が増たないまり禁煙の機会	0 インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりで行った被保険し、1,500円まで被扶養成するインフルエンザー人療費の担に対する医療をが出した65歳歳以上のでは、100円のでは、10	インフルエンザの予防接種を行った被保険者および被扶養者に対し、1,500円まで助成する)医療費(【実績値】1,559Fリカリングムで選出した65歳被は大き者に対し、1,500円までの被保険者よびび等を行った。 「「実績値」をある。 「実績値」をある。 「実績値」をある。 「実績値」をある。 「実績値」をある。 「実績値」を表現した。 「実績値」を表現した。 「大きを表現した。 「大きを表現	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりで被扶養者に対し、1,500円まで助成する 「国標値」令和6年度: - ランダムで選出した65歳以上の被保険者に対した65歳以上の被保険者に対した65歳以上の被保険者に対した65歳以上のでででででは、は、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一	- インフルエンザの予防接種を行った被保険者およりで被扶養者に対し、1,500円まで助成する 1,550円 令和7年度:1,550円 令和7年度:1,550円 令和7年度:8 以上の被保険者よび破験者に健康相談等を行う。 896,400円 令和7年度:8 禁煙希望の吹によ禁煙がより禁煙の機会を作る。	インフルエンザの予防接種を行った被保険者およ)び被扶養者に対し、1,500円まで助成する 50円 令和8年度:1,540円 ランダムで選出した65歳以上の被保険者ので選出した65歳以上の被保険対し、がではではではではでいます。 ランダムで保険者ができる。 ラク6,300円 令和8年度:896 禁煙希望の吹により禁煙のでに、禁煙がリンラーででは、禁煙が出るというがでである。	インフルエンザの医療費を抑制する。 令和9年度:1,540円 令和10年度:1,540 60歳以上の方の医療費の抑制 5,300円 令和9年度:896,300円 令和10年	該当なし(これまでの紀施する事業) の 令和11年度:1,530日 ジェネリック使用率は全も当健保の方が高ック医験 していない。 医療費が年々増加してしてが高いの医療費が高い 主度:896,300円 令和11:

予	注1) 新	新			対象	者		注2)	注3)	3)		注4)											
算	事業	牙	事業名	対象		在		注2) 実施	注3) プロセ		実施方法	ストラ チャ-		実施体制			実施計画				事業目標	健康課題との関連	
科目	分類	7		事業所	性別	齢	寸象者	王体	分類				分類			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
										アウ	トプット	·指標								アウトス	カム指標		
体育奨励	5,8	死 字 潮干	-狩り	全て		4 补 ~ 者 74	省,被扶	1	ス	-			þ	-		干狩りを行う場合、大人8 00円、子供350円を助成	干狩りを行う場合、大人		干狩りを行う場合、大人8	干狩りを行う場合、大人8		潮干狩りにて歩行を促し健康増進につなげ る。	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
		,	責値】145 <i>月</i> ベント告知题			和6年原	度:150	人令	和7年度	度:155/	人 令和	8年度:160.	人 令和9	9年度:	165人 令和10年度:1	170人 令和11年度:175	アウトカムを設定しにく (アウトカムは設定されて						
																555		-	-		-		
	5 .	既 契約字 の補	的宿泊施設 補助	全て			4 7 110000	1 :	ス	-		シ	-		ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、 被保険者3,500円、被扶養	ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、 被保険者3,500円、被扶着	プリンスホテルおよびセ ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、 養 被保険者3,500円、被扶養 者2,000円を助成する	ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、 被保険者3,500円、被扶養	ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、 被保険者3,500円、被扶養	ラヴィーリゾート泉郷を 利用した加入者に対し、	契約宿泊施設にてメンタル的な滋養を促す	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)	
	利用者数	(【実績	責値】81人	【目標	値】令和	印6年度	:100人	一 令和	和7年度	: 100人	、 令和8	年度:100人	、 令和9年	年度:1	00人 令和10年度:10	00人 令和11年度:100人)	アウトカムを設定しにく (アウトカムは設定されて						
																2,300		-	-		-		
	5		ミディズニ リゾートの り		男女	74	者,被扶 養者	1	ス	-			þ	-	-				ディズニーリゾートを利 用する場合、大人1,500円 、子供1,000円を助成する	ディズニーリゾートを利 用する場合、大人1,500円 、子供1,000円を助成する	ディズニーリゾートを利 用する場合、大人1,500円 、子供1,000円を助成する	東京ディズニーリゾートにて歩行を促し健 康増進につなげる。	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
	利用者数 人)-	(【実絹	責値】938 <i>人</i>	【目标	票値】令	和6年原	度:950	人令	和7年度	度:955/	人 令和	8年度:960.	人 令和9	9年度:	965人 令和10年度:9	970人 令和11年度:975	アウトカムを設定しにく (アウトカムは設定されて						

- 注1) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
- 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
- 注3) ア・加入者等へのインセンティブを付与 イ・受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ・受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ・ICTの活用 オ・専門職による健診結果の説明 カ・他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ・定量的な効果検証の実施 ク・対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ・参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ・健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ・就業時間内も実施可(事業主と合意) シ・保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス・その他
- ク・対象者の抽面(慶元順位づけ、事業所の選定など) グ・参加の定進(選択制、事業主の励力、参加が応題では、 注4) ア・事業主との連携体制の構築 イ・産業医または産業保健師との連携体制の構築 ク・外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ・他の保険者との連携体制の構築 オ・自治体との連携体制の構築 カ・医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ・保険者協議会との連携体制の構築 ク・その他の団体との連携体制の構築
- 注4) ア.事業主との連携体制の構築 イ.産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ.外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ.他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ.自治体との連携体制の構築 カ.医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ.保険者協議会との連携体制の構築 ク.その他の団体との連携体制の構築 ケ.保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ.運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ.人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ.その他